

平成24年度 第1回

川合市長と語り合うタウンミーティング

～ 芳野地区 ～



日時：平成24年5月15日（火）
午後7時00分～8時30分

場所：農業ふれあいセンター

参加者

芳野市民センター建設検討委員会、自治会連合会芳野支会、芳野地区社会福祉協議会、芳野小学校PTA、芳野中学校PTA、芳野地区子ども会育成連絡協議会、川越市交通安全母の会芳野支部、川越交通安全協会芳野支部、川越市消防団芳野分団、川越市芳野公民館運営協力委員の皆さん 30名

出席者

市長、副市長、政策財政部長、市民部長、福祉部長、建設部長、学校教育部副部長

意見数

| 分類 | 件数 | 内容 | 頁 |
|------------|----|-------------|----|
| 保健・医療・福祉 | 2 | トイレベビーチェア | 4 |
| | | デイサービス | 4 |
| 教育・文化・スポーツ | 4 | 公民館講座の予算 | 7 |
| | | 給食センターの排水 | 10 |
| | | 芳野公民館の対応 | 16 |
| | | 学校での災害マニュアル | 18 |
| 都市基盤・生活基盤 | 10 | 北環状線の延伸 | 3 |
| | | 南北道路の延長 | 6 |
| | | 下水道整備 | 7 |
| | | 歩行スペースの確保 | 9 |
| | | アクセス道路の整備 | 10 |
| | | ガードレールの設置 | 11 |
| | | 水路フェンスの改修 | 11 |
| | | 水路フェンスの設置 | 12 |
| | | 歩道の整備 | 13 |
| | | 道路補修 | 13 |
| 地域社会と市民生活 | 18 | 火葬場の早期建設 | 3 |
| | | 家族葬ホールの設置 | 3 |
| | | 芳野市民センター | 5 |
| | | 避難所 | 5 |

| | | | |
|-----------|----|--------------|----|
| | | 信号機の設置 | 6 |
| | | 要望書の優先順位 | 10 |
| | | 通学路の交通規制 | 12 |
| | | 川越市の震度計 | 13 |
| | | 標識看板 | 13 |
| | | 地域の防災組織 | 14 |
| | | 出張所・公民館の駐車台数 | 15 |
| | | 芳野出張所の利用状況 | 15 |
| | | 地区ごとの防災責任者 | 16 |
| | | 防災無線 | 16 |
| | | 情報伝達方法 | 17 |
| | | 避難所 | 18 |
| | | 災害備蓄 | 19 |
| | | 災害時の運送方法 | 20 |
| 行 財 政 運 営 | 1 | 川越市の財政 | 20 |
| 計 | 35 | | |

意見交換（要約）

《北環状線の延伸、火葬場の早期建設、家族葬ホールの設置》

意見 実は私、2つほどお願いがあるんですが、1つは川越北環状線の延伸についてなんですけど、山田の254までは北環状線ができて非常に便利になりました。それから、その東、工業団地まで、せめて延伸を早期に実現していただければと思います。

それにつきまして、芳野地区では川越工業団地、第二産業団地、また、埼玉医科大学医療センターと、近年とみに車の増加が目立つようになりました。おかげで、その環状線から先が、手前ができていないということで、芳野中学校のわきの市道、また、芳野地区の農道にかなり交通量が増えて、事故が増えております。先日も死亡事故が発生しました。そういった意味で、せめても工業団地まで、その先は計画できているかどうかわかりませんが、それを早期に実現していただきたいと。

もう1つは、川越の火葬場の建設なんですけど、29年度に完成ということなんですけど、今、少子高齢化で非常に亡くなる方が増えてまいりまして、年間、日本でも昨年から人口がマイナスになっているかと思えます、20万、30万とか。そういう意味で、川越市でも亡くなる方が、私どもみたいな戦後のベビーブームの人がこれからその時期に達するんじゃないかということで、早期に実現していただきたいと。

それとあわせて、やすらぎのさとに家族葬の小さい、20～30人のホールで結構ですけど、それを2つ3つつくっていただければ、年末年始、2週間も待たなくて済むんじゃないかなという考えでございます。

よろしく願いいたします。

市長 1点目の北環状線の延伸ですが、いわゆる東環状線と呼ばれているものだと思います。今のところ、北環状線の終わったところから釘無橋への道までは市道整備という形でやろうということで、去年から測量をやっておりまして、なるべく早く、まずは、その釘無橋の道路のところまで完成させようと、そういう考えでやっています。

その先、やはり工業団地から農道を通して国道254の方へ出て、それで川島の方を回って川島のインターへ行くという、そういう車がかなり増えているようですので、工業団地から釘無橋のところの道路ですね、それもできるだけ早く整備をしたいと考えています。

それから、斎場の件ですが、一応目標としては平成29年度ということですがけれども、できる限り早めてつくりたいと思っていますし、つくらなければならないと思っ

ておりますので、ご理解いただきたいと思ひます。

それと、小さな葬儀場といひますか、ホールのようなものが欲しいというご要望ですけれども、その辺のところも十分考慮してですね、今度新しくこの斎場の中に、そういう小さいホールといひますか、家族だけでのお葬式のようなものができるような、そういう部分も入れ込んでいこうという、そういう考えでやっています。

副市長 実ひ、今日もその件で地元の方といろいろお話をしていたのですが、市長が申し上げましたように、最近は大規模で、親戚がいっぱひ集まるということよりは、家族葬という形態が増えていますので、斎場の方にはそういうことの観点から、もう1つは、やすらぎの方もそういう観点での、今後の運用によってですね、斎場との一体運用の中で考えていけるのではないかと考えております。

あと、完成については、やはりあれだけ広い土地、元田んぼですので、土を入れて、少なくとも、ある程度寝かせてですね、それで建物を建てないと沈んでいきますので、そういうことでいきますと、なるべく早めようと思ひておりますけれども、一般的に、田んぼの地域に土を入れて、それで寝かせて安定させて、それで工事やるということになりますので、これからまだ都市計画もされておひりませんので、29年ぐらいを目途に頑張っていこうと思ひています。

斎場の運用につきましては、皆さん方が使い勝手がいいように、それで、近隣にもないような立派なものをつくらうということで市長から厳命受けておりますので、私を初め、担当部長おひりますので、立派なものをつくらうとを考えております。どうぞよろしくおひりします。

《トイレベビーチェア、デイサービス》

意見 オアシスのことで2点ほどおひりとお礼を申し上げたいと思ひております。

1点目は、主任児童委員で、去年ですがサロンまつりというのをやったら、川越市内から200人ぐらい子どもたちに集まってもらって盛況だったんですけども、お母さん方から、トイレに赤ちゃんを、自分が用を足すときに赤ちゃんを載せる、それがなかったのひ、それをつけて欲しいという要望があったのひ、ぜひ1つでもいいからあれば、もっと子どもたちが活用できるかなと思ひるので、ぜひ1つでもいいのひで設置をしていただければと思ひます。

もう1点は、障害者のデイサービスですけれども、私は去年からそこに身内がお世話になっているんですけども、職員の方がとても献身的で親切なんひですね。障害者に、いかに1日飽きないで作業させるかというのをすごい工夫してひいて、うちのは目が悪いんですけども、目が悪くても編み物をしたりとか、本当にいろいろ考えてや

っていただいているので、それはとても感謝しているのですが、この場をおかりしてお礼申し上げたいと思います。以上です。

市長 1点目は、おむつなんかをかえるときに寝かせるような、そういう台という意味ですか。

意見 そうじゃなくて、各トイレの中に、自分が用を足すときに赤ちゃんをちょっと抱っこできなくて、ちょっと載せておく台のようなものです。

市長 赤ちゃんを一時的に載せておくというか。

意見 はい。何ていうのか名前はわからないんですけども、それが1カ所でもあれば、赤ちゃんを連れての方が利用できるかなと。

市長 わかりました。じゃ、それは検討させていただきます。

《芳野市民センター》

意見 芳野の出張所、公民館の建て替えの関係でございますけれども、芳野市民センターということで早急に建設をお願いしたいということで、ここ3年ほど毎年、市長の方に支会長を中心にお願いに上がっております。今年の秋には、支会長を中心にやっていた陳情を少し変えまして、芳野地区で今日いらっしゃる各種団体の長の方も入れた中で、30名ぐらいで、建設促進をお願いすべく検討委員会なるものを昨年の秋に立ち上げたわけでございます。

そんな関係で、芳野地区も建築してからかなり年数がたっておりまして、市長もご案内のとおり、もう市の出張所としては古いほうの建物になるわけでございますので、いろいろあるかと思っておりますけれども早急に新築していただけたらありがたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

市長 ご要望は前からいただいておりまして、よくわかっておりますので、今、何年にとか、そういうようなことを申し上げるわけにはまいりませんが、できるだけ早く対応したいと考えております。

《避難所》

意見 芳野地区は軟弱地盤と防災マップなどではなっております。このふれあいセンターも、伊佐沼を埋め立ててつくっているという状況を建設当時に見ています。その中で、東西南北で大東地区は地盤がかたく、芳野地区は水田地帯が多いですので地盤的に液状化が進むのではないかというのも考えています。

昨年3・11のときに福島県から皆様方がこちらのふれあいセンターに来られましたが、やはり建物自体にひびがはいっていますし地盤がやわらかい。この地区に小学校があります、中学校もあります、公民館もあります、ふれあいセンターもあります。そ

ういった中でこの地区で避難とか、そういったところは考えているんですか。地盤的には行政側も、どこがかたい、どこが軟弱地盤というのはよく把握しているかと思うんですけれども、昔つくられた家だと、東海とか3・11のような地震がもし関東内で起きた場合には、こういった地区に関しては考えておられるのでしょうか。よろしくをお願いします。

市長 大地震とか、あるいは洪水のときの避難所というのは、それぞれ決められていると思うのですが、基本的には学校が避難所になっていると思います。学校自体の地盤の問題とか、細かい点はちょっと、頭の中に入っていないのですが、少なくとも学校の耐震化は、体育館も含めて、今年中には川越市内の小・中学校の耐震化工事は終わる予定です。軟弱地盤で液状化の心配があった場合に、大きい建物が傾いたというのは、ちょっと今まで余り見たことはありませんが、少なくとも4階建て等の建物、あるいは体育館のように大きい建物をつくるときは、杭をしっかり打っているはずですから、液状化に対してはほとんど心配はないだろうと考えています。

副市長 小・中学校の耐震化につきましては、今年の夏休みで川越市内の小・中学校は全部、体育館も含めて終わりますので、今、市長が申し上げましたように、そこを避難所ということで考えております。

確か、全国的には27年の目標ですけれども、川越だけは、特に子どもたちの安全という意味から、市長の指示を受け、今年の夏休みの工事で全ての補強が完了します。

今、筋交いをしたり床を強化したりもしております。3・11の問題がありましたけれども、それについてはできるだけのことをしたと考えております。

《信号機の設置、南北道路の延長》

意見 お願い事なんですけど、島忠ホームセンターの西側の南北に伸びた道路なんですけど、それを南に進みますと旧の16号に当たるわけなんですけど、今までもそうだったんですけど、非常に大型店舗等ができて、そこが渋滞で非常に危険だということで前々からもう言われているんですけど、そこに信号機をつけてもらいたい。

これは地元の杉下、それから伊佐沼新町の自治会はもちろんなんですけど、芳野地域におきまして、川越市街に行く重要な道路でございますので、何とか整備をしていただいて、それで安全を図っていただきたいと。

この問題に関連しまして、場所は違うんですけど、やすらぎのさとの東側の道路なんですけど、これもやっぱり南北に走っているんですけど、北に進みますと16号にぶつかる丁字路があるんですけど、ここには信号機がついています。それをさらに島忠ホームセンターのすぐ南側の道路にぶつけていただいて、それで、そのこのところの渋滞を

緩和していただくということと同時に、芳野地域の場合も南側に抜ける道路というのが本当に少ないんですよ。特に 16 号国道は中央が分離されていて、信号機があるところじゃないとおっかなくて、そこを横断するということはまず不可能でありますし、そこを無理やりに、今言った信号機のある交差点のすぐ西側の小さな交差点があるんですけど、そこを無理に左折して、右折帯に入ってやすらぎのさつに入るような、本当に危険なドライバーもおりますし、ちょっと見てもらえないような危険な場所なので、ぜひとも安全対策と同時に芳野地区の利便性を図っていただきたいという形で、この 2 点を要望させていただくということをお願いします。

市長 場所については私もよくわかっているところですけど、1 つは島忠の西側、タイヤ館のところの出口ですよ。

意見 はい、そうです。

市長 あそこのところも、今回、出口のところは、橋は広げましたが、確かに右折車と左折車があって、なかなかうまくさばけないという、そういう面があるので、信号をつけた方がいいとは思いますが。

信号をつけるのは公安委員会、警察の仕事ですので、市から要望を出すということはいたします。ただ、素人考えで考えるとですね、琵琶橋のところの交差点があって、それから 16 号との変形の交差点がありますよね。その両側に信号があるもので、比較的短い距離の間にもう 1 個信号をつけてくれるのかどうかは、私としてはわからないので、警察のほうとよく相談はしていきたいと思っています。

それと、もう 1 点の、やすらぎのさつと東側の南北に走る道が 16 号にぶつかったあとの先を、もう 1 つ北側の道路まで広げてほしいと、通してほしいという、そういうお話ですよ。あそこがつながると確かにとても便利になるかと思うので、それは検討させてもらいます。

《公民館講座の予算、下水道整備》

意見 2 点なんですけど、1 点目は、公民館の運営の関連と伺いますか、そのことについてなんですけれども、大変厳しい予算の中で公民館の運営がされているわけなんですけれども、ぜひこの講座はというものも今年削られて、なくなってしまったんですね。講師の方にお支払いするお金というのが大変厳しいということがあってなんですけれども、地域の子どものことを考えたりしますと、例えば、子どもサポート教室なんかそうなんですけども、そういうのをぜひ今後も続けたいなというのがあります。そういう予算に対して市のほうからの援助というか、そのところも妥当かどうかということをお各公民館に聞いていただいて、もし、もう少し援助して下さる

なら、そういう講座も設けられるかなというふうに思います。

あと、もう1点なんですけれども、私の住んでいる谷中地区というところには下水道が完備していないんですね。田園地帯ですし、近くの用水とか川に生活污水を流せばという、そんなことでやってきたと思うんですが、生活も大変まちと変わらなくなってきて、私のうちでいいますと、生活污水を裏の堀のところに流して、そこから川に行くという感じなんです、私のうちだけじゃなくて近所の方も、たまってしまうとボウフラが夏になると湧いたりして大変不潔なんです。下水道の工事を、計画的にやっていらっしゃると思うんですが、何年先にできるとか、そういう計画もわかればいいなと思っています。どうぞよろしくお願いします。

市長 公民館の講座については、いろいろ予算等の関係もあって、比較的人数の少ないものは削ったとか、そういうことだと思いますが、そういうご要望があるということ踏まえて、いろいろまた検討させていただきます。

それと、下水の問題については、私の頭の中に入っている限りにおいては、市で下水道を入れるという、計画区域というものがあまして、その計画区域に下水を入れるだけで、今のペースでやっていくと100年ぐらいかかるという状況です。

その計画区域に入っていない地域についてはですね、最終的に、今、川越市の下水は、和光にある施設に流しているのですが、そこに流せる量がある時点での市町村の人口によって決められているということがあってですね、新たに増やすということが現状ではできないという状況です。ですから、計画区域に入っていないところについては、合併浄化槽をお勧めして、補助を出して合併浄化槽に替えていただくという方向で進めているところです。

建設部長 所管が違いますけれども、私の知識の中では、谷中地区はまだ公共下水道の計画区域には入っていなかったと思います。

確か、この芳野地区ですと、そのほかには農業集落排水という事業をやっていると思うのですが、それ以外の地域については、やはり個別の合併処理浄化槽、それによる対応ということで水質保全を図っていこうという計画になっていると思います。

意見 そうしますと、スムーズに流れるような感じで、下水道ができないとなったら、自宅で何か工事をするというのは、合併浄化槽だけでなくも多少補助とか出たりするのでしょうか。

建設部長 あと、ちょっと言い忘れましたが、この地区は場所によりますと、最終的には農業の排水路等を使って伊佐沼に流入していく地域ではないかと記憶しております。

今、伊佐沼も水質改善に向けていろいろな事業を展開しているところでございますが、今おっしゃられたような個々のお宅の排水をどのように処理するのか、どのように排水するのかというのは、これは一軒一軒については大した量ではございませんが、トータルすると物凄い量の数が伊佐沼方面に流れてまいりますので、その辺については、例えば合併処理浄化槽の排水を水路に放流する場合には、当然その水路の管理者等がですね、その処理水を放流しても水質的に問題ないのかどうなのかというところをきちんと把握した上で許可をしていくということも必要だと思いますし、日々の点検も、浄化槽の点検も大変重要なウエートを占めているのではないかと考えております。

意見 浄化槽の設置が無理ならば、やはりちょっと地域を回っていただいて、地域の実情も少し見ていただくといいかなと思うんですが、よろしく願いいたします。

《歩行スペースの確保》

意見 私は芳野の中で鹿飼というところに住んでいるのですが、私たちが住んでいるところは今まで畑の場所だったようで、ちょっと道の詳しい名前がわからないんですけども、芳野の駐在所の前から上尾の方面へ向かうと、左手に埼玉冷蔵倉庫というところがあるんですね。その前に住宅が今7軒建っているんですけども、ここには小さい子どもたちとお年寄りが住んでいます。

その芳野駐在所の前から上尾のほうへ向かう大きい道なんですけれども、大きなカーブが続いているんですね。私たちが住んでいる道の反対側に歩道がついておりまして、私たちが住んでいるほうには歩道がないんですね。その歩道まで行こうとすると、斜めに大きく横断しなければ歩道に入れない状態で、足の悪いお年寄りが散歩なんかいかれたりとかいう、いつもしているんですが、歩道に入るまでが大変危険で、工業団地へ向かう大きなトラックなどもすごく通るので、カーブがあるので、大分視界もよさそうに見えて悪かったりとかしているのも、そのガードレールを真っすぐ1カ所切ってもらったり、もししていただければ子どもたちもお年寄りも安全に歩道まで渡れる形になりますので、そこら辺の検討をいただければと思います。

市長 ガードレールを途中ですき間を設けるといふ、そういうことですか。

意見 そうです。歩道に渡るまでに大分斜めに渡らないと歩道にまで行けないんですね。すき間がなくて、子どもが1人通れるスペースがないんですね。なので、子どもが安全に向こうの道へ歩道まで渡れるような環境というか、ガードレールなりをちょっと切ってもらったり何かしていただけるほうが、子どももお年寄りもいらっしゃって、ちょっとお買い物に行かれるにも歩いていかれたりするので大変危険な道の横断

になってしまうんですね。なので、ちょっとご検討いただければと思います。

市長 現地を見させていただいた上で対応させてもらいたいと思います。

建設部長 今日地図も持ってまいりましたので、このミーティングの後に場所等確認させていただければと思いますので、よろしくお願いします。

《アクセス道路の整備》

意見 私どもの自治会の方は、ちょうど埼玉医大の病院があるところでございます。南古谷駅からのアクセスにつきまして、どこを通ってもやはり道が細いような状態になってございます。それでまた、当地区はここまで開発が進められて、新住民も増えておりまして、南古谷の駅を利用する人も増えてございます。

医大のほうに向かうのも不便ですし、それから、当地区の間が南古谷駅に出るについても不便でございます。それで、その辺を何とかアクセスをもう少し、今後、火葬場もやすらぎの方にできるということであれば、アクセスを改善していただくようなことはできないでしょうか。

市長 かなり距離の長い間を道路拡幅しなければならないことになるかと思うのですね。かなり時間がかかってしまうことだと思います。例えば愛和病院のわきの道についても、16号を渡った後がネックになっていますよね。拡幅するのもなかなか時間がかかりそうな気がします。

意見 歩道がないという状態なんですね。要は、私も勤めで使っているんですけども、やはり16号に出るまでの道路というのは歩道がないところばかりですので、危険もありますので、ぜひお願いできればと思います。

《給食センターの排水》

意見 管間に給食センターがあるんですけど、あそこから出た排水のところに、個人的な話なんですけど、ちょっと田んぼをつくっているんですよ。何か水が少なくなったときに赤い何か浮いたものが出てきて、うちの田んぼに入るわけなんです、あと隣とか。1回調べていただけないかと思います。

市長 わかりました。ちゃんと処理しているはずですが、あそこは下水が通っていないから、自分のところで処理して放流しているということになるのですかね。浄化槽の管理とか、そういうものの問題かもしれないので、その辺はよく調べてみます。

《要望書の優先順位》

意見 道路の要望書なんかを上管間なんかにも出しているんですけど、要望書について、その優先順位とかというのはどんな、決め事じゃないんですけど、やっぱり優先順位があると思うんですよ。その辺の優先順位の細かい話というのはどうでしょう

か。

市長 基本的には順番が一番大きな基本です。毎年 400 力所ぐらい道路に関する要望はいただいているのですね。そのうち、年内に対処できる部分が半分もいかないぐらいで、積み重なっている要望箇所がですね、どのくらいでしたか。

建設部長 道路拡幅ですと 400 ぐらいだと思います。

市長 基本は受け付けた順番ですが、どうしても通学路等で本当に危険度が高いとか、そういうものに関する緊急の要望については先回しでやる場合もあります。細かい、それこそ穴をふさいで欲しいとか、そういうご要望で、かつ早急にやらなければならないものは迅速に対応しているつもりではあります。

《ガードレールの設置》

意見 昨今ですね、通学路の関係なんですけども、芳野小学校の通学路についてどれだけ安全対策をとっているかということで、昨今、暴走車両で亡くなる方が結構多いということで、できれば通学路にガードレール等を設置していただければ二重の安全確保できるんじゃないかなというふうに思いますので、その辺ですね、芳野の小学校、中学校の通学区域の通学路をもう一度見直していただきたいというふうに思うので、よろしくお願ひしたいと思います。

市長 わかりました。

《水路フェンスの改修》

意見 この前、石田本郷のほうで事故があって、カントリーエレベーターと芳野保育園から来る道ですけれども、大きい道路があるんですけれども、あそこのフェンスが曲がっているということがあって、ちょうど子どもたちの通学路になっているので、これから田んぼとかも始まってくるので水位が上がってきたりすると、ちょっとあのフェンスが曲がっていると子どもたちが乗ったりしたりすると危ないのかなというところがあって、その辺のところを検討していただきたいと思います。

市長 水路に落ちないようにしているフェンスが斜めになっていると。

意見 斜めになっちゃっていますね。それが事故でなったのか、その前からなっていたのかわからないんですけど、いつになく直っていないなというのがあったので、一応そこが通学路だということもあったので、できれば早急に直していただければなというふうに思っております。

市長 それも現場を見させてもらった上で対応させてもらいます。

意見 交差点のところの、ちょうど橋みたいになっているところで、水色のフェンスが曲がっています。

建設部長 確認させていただきます。

意見 あそこも事故が多いところなので、通学路の部分と、工業団地に勤めにいかれる方の部分もあるので、あの辺を少し安全対策をしていただけるとありがたいのかなというふうに考えております。

《通学路の交通規制》

意見 芳野は特に交差点が少ないんですけども、丁字路、信号のない交差点ですが、十字路が非常に多いんですね。そういうところでいろいろと、漫然運転とか、ぶつかりとか、一時停止不履行とか、そういうことがあって事故が多いんですけども、基本的に私は、例えば生活安全課とか、警察署の道路規制課というんですか、そういうところに私も時々言っているんですけども、なかなかスピードが進まないということがあります。

菅間の用水路の通り、要は工業団地に行く大型車が、真ん中の本来通るべきところを通らないで、伊佐沼用水路のある住宅地の生活道路ですね、あそこを通るんですよ。あそこは大型同士では絶対すれ違いができない。路側帯の白線が引いてあるんですけども、そこをオーバーしちゃうんですね、大型同士がすれ違う際に。小学校の通行時間帯にかなり危ない、自転車も危ないという状況なので、あそこを何とか時間制限、せめて子どもの通学時間帯は大型車進入禁止とかね、そういうことが市のほうからも言ってもらえればというふうに考えました。

確かにガードレールがあれば、それなりに今度は車のすれ違いができないような感じでございますから、そうすると大型車も入ってこないなど。中途半端な道路幅なので非常に難しいとは思いますが、結論から言って、あそこは時間制限をしていただきたいなど。子どもの通学時間だけね。そういうことが場所によってできるところは要望があればどんどん出し、代表して警察でも市役所でも行きますけども、そんなことも可能なんじゃないかなと思います。ですから、芳野のそういうことを集約して私がお願いに行ったらときはよろしくお願いします。

市民部長 今回の件ですけども、市民部のほうの所管でございますので、また明日お電話さしあげて、また検討したいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

《水路フェンスの設置》

意見 芳野駐在所の西側、水路際に歩道を舗装してもらいまして、今、通れるようになったんですが、その水路と道路の境、これが現在は木のくい打ってありまして、それにトラロープで結んであるだけなんです。それだと子どもが落ちる危険性があるというので、小学校の校長先生がそこを通るのを許可してくれないというようなこと

らしいんです。

ですから、早急にそこにフェンスを設けてもらえればと思ひまして、今はですね、その水路際を通れば学校へ行くに非常に近くなるんです、鹿飼の人たち、あるいは上老袋の生徒がね。今は逆に遠回りしているんですよ。中学校の西側のほうへ回り込んで小学校へ行くというような形をとっているんですが、そんなわけなので、ぜひお願いしたいと思ひます。

市長 それも場所を確認させてもらった上で検討させていただきます。

建設部長 終わりましたら、地図上で確認させていただきます。

《川越市の震度計》

意見 最近、地震が多いんですけれども、川越市の震度計、テレビ見ていると川越市幾つと余り何か出ないような気がしているんですけれども、川越市にはどこに震度計というのが設置されているのか。勉強不足でわからないんですが。

市長 庁舎の中にも震度計はあるのですが、その震度計は気象庁とつながっておりません。

政策財政部長 庁舎としてもあるのですが、市立川越高校の中にあるものが川越市の震度計です。地盤などがありますので、多少皆様の地区と川越の震度とは感覚的に合わない場合もありますので、そういう若干のずれがあるかと思ひます。

《歩道の整備》

意見 埼玉医大のわき、以前点滅信号だったところを、今は信号機に変えていただいたんですけれど、その信号機から工業団地に抜ける道があるんですけれども、かなり朝の通勤時間とか、工業団地に通う方とか、あと、日中は大きな大型トラックとかも通るんですが、道幅が狭いんですけれども、全く歩道というものがないんですね。

朝、子どもが端っこを通っているところに車が行き交うというところで、あそこに水路のようなところがあるんですね。もしできましたらその区間埋めていただいて歩道をつくっていただくと、安全に子どもが通ることができるので検討いただければと思ひます。そのほうがいいと思うんですけれども、よろしくお願ひします。

市民部長 後ほど地図でお示しくください。現場を確認させていただきます。地図は今のところ3件でございますね。

《標識看板、道路補修》

意見 ロイヤルホストとステーキの宮から上尾県道と並行に、医大のほうに向かってくる道路なんですけども、田んぼの中の交差点ですので、「止まれ」というのが小さい看板なんです。広い道路なので止まらないで行っちゃうんで、ただ、高いところ

に「止まれ」とかという標識ができるのかどうかなんですけどね。結構ぶつかるんです。見落としてバイクと車がぶつかったりして、今、広い道路になりましたので、ダンプがもう朝夕行き交って、道路が穴ぼこだらけなんです。だから、田んぼの中の道路、埋め立てて広くしたので多分地盤が緩いのかなと思うんですけども、結構、水が入るころになると道路が穴ぼこになっているんです。

市長 カントリーエレベーターから西のほうに来る道ですか。

意見 芳野出張所の裏側の道路で 254 まで行くんです。

市民部長 道路標示等につきましては市民部の所管ですので、また、ご連絡させていただいて、現場確認をして検討させていただきたいと思います。

意見 すみません、よろしく。

市長 交通標識は基本的には警察の仕事ですよ。ですから、ご要望があれば市を通じて出すとか、そういうことはもちろんいたします。

《地域の防災組織》

意見 市長には日ごろ消防団活動には大変ご尽力いただいて、私たちも活動させていただいております。

我が芳野地区は自警隊 11 隊ございます。その上に芳野分団という形で、全員が、自警団出身している人数が 21 名、自警団を抜けた 4 名の 25 名で活動させていただいております。

昨今、ほかの 8 区、福原、山田、大東、古谷地区あたりですと自警団の存続が大変厳しいと、ほかの分団の分団長並びに団員さんから聞いております。私たちの芳野地区は 11 隊何とか辛うじて、だと私は思っているけど、活動はできております。

自警隊がなくなると、ほかの防災組織を立ち上げるような話をちらっと聞いたことがあるんですけども、もし自警隊がなくなった場合は、どういった形で地区の防災上のシステムは成り立っていくんでしょうか。その点、わかる範囲でいいので、回答できればよろしくをお願いします。

市長 自警隊そのものについて余り知識がないのですが、今、自主防災組織というのですが、自治会等が中心になって組織をつくっていると思うんですけども、そっちの方向でまとめていくということになるのではないかと思いますけれども、芳野には自主防災組織というのがあるのですか。

意見 ないんです。

意見 一応、老袋地区にはあるらしいんです。

市長 恐らくそういう形で編成していくということになるのだと思います。

市民部長 そのほかございますか。ないようでしたら、今回のタウンミーティングにつきましては2部構成ということで考えております。1部の意見交換につきましては、また最後もう1回、忘れたことがあるかもしれませんので、もう1回時間を設けますが、今度は2部に移らせていただきたいというふうに思います。

「テーマ：出張所と公民館に求めることについて」

《出張所・公民館の駐車台数》

意見 先ほど市民センターを早くつくってほしいというふうに要望したと思うんですけども、芳野の公民館、出張所、両方で駐車場が10数台しか置けません。そういう観点からも、早く市民センターを、もう40年ぐらいたっていると思うんですよね。あの建物はもう川越市でも一番、公民館、古いんだと私は思います。そういうわけで、大きいのをつくっていただきまして、駐車場を多くすれば、もっと公民館、出張所を利用しやすくなるんじゃないかと思うわけでございます。よろしく願いいたします。

市民部長 わかりました。ちなみにですね、ちょっとそこら辺の質問が出るかと思って調べてきました。芳野公民館が昭和44年でございます。一番古いです。古谷が45年、山田が46年、昭和44年、45年、46年、これは古さだけを申し上げました。そのほかにもございますか。何でも結構です。

市長 駐車場の問題は、農協さんの広いところを借りるとか、そういうわけにはいかないのですか。

意見 結局そういうふうに使っているわけですね。

市長 市が農協さんと正式に提携してというか、お願いして、置き切れない車は農協さんのほうに置かせてもらうというような、そういう形でもいいですかね。

意見 それよりは、市民センターをつくる都合上、裏の田んぼとか前の田んぼを買っていただければと思います、市のほうで。よろしく願いいたします。

《芳野出張所の利用状況》

意見 今、駐車場と言っていましたけど、結構芳野は利用しやすいとあって、地元もそうですけども周りから集まっていますね。

市民部長 出張所ですと割とすいていますので、待たずにできるということがあるうかと思えます。

意見 評判はいいんです、だから。来やすいというか、利用しやすい。

《芳野公民館の対応》

意見 要望というか、そういうのではなくて、芳野公民館は古いんですけども、大変職員の方が、その古い建物をきれいに修復したりですとか、それから、細かいことで、お茶のセットですとか、そんなところまで、すごい心配りをしてくださって、私たちが気持ちよく使えるようにという工夫をたくさんされていますね。あと、季節感を出して、鯉のぼりですとか、その季節に合わせたいろんなものを飾ったりとか、目でも楽しませていただいています、大変気持ちよく使えるようにしてくださっています。大変努力していると思います。

意見 公民館長さんが、公民館運営審議会ということで、多分、ボランティアでペンキを外壁に塗ったり、幾日か前には私ども庭の草むしりをしたりゴーヤを植えたりしているわけです。そういう意味で公民館が利用しやすいと思うんですよ。ただ、駐車場だけ、もう1回、くどいようですが。

意見 地域の方が公民館を盛り上げているというのが、すごくあると思うんですね。

「テーマ：市民が望む災害対策について」

《地区ごとの防災責任者》

意見 芳野地区に関しましては、まず自治会があります。また、出張所、公民館もあります。学校もあります。その中で、地区に対する防災のトップというのはどちらになるのか。市長さんが最終的なトップだと思うんですが、その地区ごとに防災の管理者というのがいると思うんですが、この地区、多分まだできていないと思うんですが。

市長 地区ごとの防災責任者というのは特に決めていないと思います。

《防災無線》

意見 そうすると、やはり防災無線とかそういった中で、どこどこに避難してくださいと通達とかするわけですか。

市長 防災無線は全市に流す内容ですから、例えば芳野地区の人はどこへ避難してくださいとか、そういうものには基本的には使わないです。ですから、具体的に避難が必要になったときは、何々地区に避難勧告が出ましたと、避難場所に早急に避難してくださいというのを、例えば消防車であるとか市の広報車であるとか、そういう手段を使ってその地域に流すということになると思います。

意見 万が一停電した場合に、蓄電池のような、そういった備えはあるんですか。

政策財政部長 停電してすぐ無線ができなくなることはないです。基本的には電池を持っていますので、一定程度の時間は放送できると思います。

あと、先ほどの避難ですけれども、基本的にそのために地区ごとに避難訓練を毎年順番に行っておりまして、芳野地区も何年か前には行っていると思うのですが、ああいう形でもって訓練をして避難していただくという形になりますので、災害時には、まず放送して、それに基づいて避難していただく。避難場所については、日ごろから地域の方で確認していただくということでございます。

《情報伝達方法》

意見 例えば大地震とかが起きた場合の防災体制ということでしたけども、情報というものの伝達、この地域、市役所からも離れておりますので、情報の伝達手段としてはどのような形で市役所のほうでは整備なさっているんでしょうか。

防災無線が1つあるのはもちろん存じ上げていますけど、それを、この間の大震災のときも人を介してどうやって情報を伝えていくかというのが非常に大きな問題になってしまったかと思いますので、そういった面の整備、もちろん自治会はありますから、芳野支会からということなんでしょう。私も自治会長ですけど、その辺ちょっと不勉強で存じ上げていません。例えば市のほうの担当部があって、それから芳野支会に流れて、それから自治会に流れるとか、そういう体制面の整備、ハード面だけじゃなくてソフト面の整備というのはどのような形になっているんでしょうか。

市長 ハード面の情報伝達については、防災無線以外は、登録してくれた人には携帯にその情報を流す、そういうものを始めています。それは個々の人に対してということになりますね。各地域への情報伝達については、先ほど言ったように、やはり広報車とか消防車とか、そういう形での伝達ということになると思います。出張所に流して、その出張所の人がこの芳野地区全体を回るとかですね、そういうことは考えていないですね。

副市長 今のお話、まさに一番大事なものは、情報がどうやって入って、どうやって流れるかということが重要だということで、私どもも、担当は総務部になるのですが、そこで今、一生懸命やっております。それで、他市で先行した事例ですね、ツイッター等の複数の手段で、同じ情報でもいろいろなルートでうまくいっているところありますので、一生懸命考えております。

もう1つ、これは直接今のお答えにならないかもしれませんが、今年は防災訓練をですね、今までとは違って避難所訓練をやろうと。そこはですね、うまくいくより、むしろ失敗を前提として、その失敗を勉強しようということで、問題点を洗い出そうということで、かなり混乱する訓練をやろうということで計画をしています。

そういうところで、今おっしゃられたような情報伝達のところも、恐らく混乱があ

るだろうと思います。そういうところを把握するという訓練をやって、実質的に動くような情報伝達、動く組織づくりということの第一歩として避難訓練を考えていますので、そういうところでわかってくるとと思います。そこで何かいいものが出てくればまた皆さんにお話等できるかと思えます。

現在では、残念ながら防災無線プラス携帯メール、プラスあとは自治会の関係の連絡網と言ったところがございますが、ツイッター等、そういうところを検討しているところがございますので、どんどん新しいものを入れていこうと思っております。

《学校での災害マニュアル》

意見 各学校で、そういった震災がもし起きた場合の、教育者たちのそういった指導の徹底と、そういったマニュアル等というのはできているでしょうか。

学校教育部副部長 昨年ですね、9月までにマニュアルを、仕組みをつくりました。過去に神戸の大震災、それから新潟の震災、その時につくってありまして、特に学校への避難場所としての機能を明確にしたものをつくったのですが、今回については、帰宅困難者等の家庭もありました。そういうところに視点を置いて、学校で待機させるとかですね、それから通学途上で起きたときの対応、そういうものも新たに入れました。それから、まず、子どもたちも自分で身を守るという、そういう教育もしていかなければならないということで、そういったものも入れて、各学校に電子データ、それから冊子で送ってあります。

それをそのまま各学校で使うのではなくて、芳野地区なら芳野地区の学校の実態もありますので、学校でさらに工夫したものを作成して、市教委のほうにまた提出させております。

《避難所》

意見 多分、何年か前の水のハザードマップに、芳野の避難所は多分、初雁か第一小学校か、向こうのほうへ逃げるように書いてありましたよね。確かにここから第一小学校まで3キロも4キロもあるわけですよ。だから、どうしても学校に避難するか、災害があったら子どもたちを帰さないで、今、副部長言いましたように、帰さない算段とか、地域の人が学校へ避難するとか、芳野の地区に関してはそこが一番大事じゃないかなと。だから、特に小学校、中学校の避難所なり、そういうのをもっともっと徹底してもらったほうがいいような、実際、川越の初雁中へ逃げろといっても、なかなか逃げるのはちょっと無理だと思うんです、この低い地区でね。川越の第一とここでは相当高低差ありますので、その辺を加味して、この芳野、古谷のほうは考えてもらったほうがいいような気がします。

意見 川越市の全部の施設で川越市の人口を全部賄い切れませんか。

市長 避難所として賄い切れるかどうかですか。それは到底賄い切れません。ただ、例えば34万5,000なら34万5,000の全市民が自分の家に住めなくなってしまう、そういう状況というのは想定していません。全地域が全壊してしまうというのは想定外というか、まずあり得ないだろうと、そういう考えで防災はやっていると思います。

副市長 基本的にはですね、建築基準法が昭和57年に改正されています。それ以前とそれ以後で大きな差があります。57年以降の建物についてはI s値がかなり高く設定されていまして、川越市についても新しい建物につきましては倒壊を免れるという想定はできているはずでございます。57年以前のものについて、私どもも公的建物については直すようにしています。

そういう意味で、今、市長が申しあげましたように、全部が一挙に倒壊ということは、これはちょっと、埼玉県からも出ていません。埼玉県がやっていますのは、緊急道路の周辺については、これはなるべく倒れないようにするということはやっておりますけれども、すべてのものについての手だてはできていない状況でございます。

実は今、国のほうでも震度の見直し、関東大地震の、例えば東京湾北部地震についても、昔は震度6強だったのが今度7になったりということで、いろいろ想定外はやっているのですが、川越については、その想定外の中でもそれほど震度の上ぶれは余りないのですね、地盤の問題だと思います。

したがって、この前の3・11は震度5強だったのですが、川越の場合はそれほど大きい被害は受けません。やっぱり東松山とか川越等については、かなり地盤がいい地域だと思います。そういう観点から言っても、一定の建物が維持されるものと考えてございます。ただ、やはり公的施設で昭和40年代、50年代の初めについては、I s値が低いものですから、これらの耐震化進めているところでございます。

《災害備蓄》

意見 川越市にも災害備蓄庫というのが何個かあると思うんですけども、もし何かあったとき、川越市民の大体何日分ぐらいを備蓄しているんでしょうか。目標というのは、本当は何日分ぐらいというのが多分あるかと思うんですけど。

市長 災害備蓄庫には3日分ぐらいではないかと思えます。

副市長 備蓄庫以外にですね、例えば民間の商店ですとか供給会社と協定を結んでいまして、例えば燃料等も今後協定を結ぶのですが、供給していただけるというような協定結んでおりますので、それは今後も拡大していくこともあります。備蓄だけでは賄い切れませんが、その後についてはほかからの供給、あるいは、これは社会福

社協議会でボランティアセンターを立ち上げるのですが、ボランティアセンターのほうでボランティアの受け入れですとか災害物資の受け入れを考えております。そういう後々の安全な地域からの流入がありますので、一定の時間が確保された後については物資については見込みが立っております。

ですから、私どもお願いしたいと思っておりますのは、ぜひとも個人において、せめて1日2日ぐらいの水等については備蓄をしていただければというふうに考えてございます。できればお風呂の水は捨てないとか、あるいはポリタンクを持っているとか、できればペットボトルがいつも2つ3つあるとか、それについてはぜひともお願いしたいと思っております。市のほうにつきましては、いろいろな民間企業との協定は拡大して行く努力をしていこうと考えております。

《災害時の運送方法》

意見 例えば災害が起こっちゃった場合、道路網が寸断されるといったときに、備蓄庫が遠くにあった場合どうやって運ぶのかとか、そういうふうな運送方法ですね。もしだめだったらばオートバイなり何なりとか、自転車とか、そういうもので運ぶのかどうか。そういうものについては全然まだ決定はしていないわけですか。

例えば、今、あくまでも車で搬送するということが多分基本的になっているんじゃないかなと思いますけれども、道路等、この前の3・11でないですけども、津波とかいろんな、まあ津波はないと思いますけども、道路網が崩壊したときにはどうやってそれを現地に届けるのかということをお聞きしたいなと思います。

市長 基本的には、避難所には緊急時の食料であるとか、そういうものを備蓄するという、そういう原則で避難所をつくっております。それで足らなくなった場合や、避難所あるいは備蓄庫の近くに避難できなかった人等に届けるというのは、基本的には市の車であるとか、場合によってはオートバイであるとか自転車であるとか、その場その場に応じた手段、交通手段を調達してやるという、そういう考え方でいると思います。

《川越市の財政》

意見 皆さんの前で、1つだけ聞いておきたいと思しまして、要望とかそういうんじゃないんですけどね、川越市の収入財源というのは何が一番メインなんでしょうか。税金はわかっていますけど、その中でも固定資産税なのか、法人税ということはないと思うんですけど、市民税なのか。

政策財政部長 一番は個人市民税です。個人の市民税が一番です。

市長 個人が納める市民税です。

意見 この間、市長さんからの広報があったときに、川越市の財政ということでやってね、借金もありますよね。それで、個人のうちみたいに酒代が幾らだとか何だとかというのは書いていないけども、収入も書いてあって、借金払って、どうも見た限りそれで終わっちゃっているような気がするんですよ。収入から出た分が幾らとね。あとは国庫補助金だとか何かと書いてあって。我々にはわかりませんので、金のことまで細かく言うつもりはないんですけど、普通の企業でいけばですよ、地方公共団体だから生産性がないのはわかりますよ。普通の企業でいけばですね、何がメインの収入の足しだというのがあるはずですよ。税金はわかっています。だけど、固定資産税も市民税も法人税も、いろんな税金があるわけですね、消費税まで。まあ、市だから消費税云々はないんでしょうけども、だけど、その一番は何なのかということ、この年になって恥ずかしいですけど聞いておきたかったです。

市長 一番大きいのは個人市民税、個人が市民税として納めてくれる分と、それと、固定資産税がほぼ同額ぐらいありますね。それぞれ200億から230億ぐらい。

意見 じゃ、支出で一番多いのは何なんですか。

市長 支出で一番多いのは民生費ですね。

意見 人件費なわけですか。

副市長 いえ、民生費です。福祉だとか高齢者医療とか、医療とか福祉等にかかるお金が一番大きくなっています。

市長 ただ、その民生費の中には、いわゆる人件費も入っております。そういう仕事をするための職員の給料。例えば200人がその民生関係で働いているとしたら、その200人分の給料も民生費の中に入っています。そういう分け方をしています。

市民部長 市民皆様にお納めいただいた貴重な税金につきましては、無駄に使わないようにいたします。

市長 本日は皆様方からいろいろ貴重なご要望やご意見を頂戴しまして、ありがとうございます。

特に、最後に出た財政の状況については、なるべくわかりやすく市民の皆さんに伝えていこうと考えていますので、今後とも、皆様方にとって、ぱっと見てわかるような、そういう工夫をしながら川越市の財政内容について広報していきたいと考えております。

また、今後とも皆様方のいろいろご意見等がございましたら、市民意見箱という、そういう手段もございますし、あるいは自治会長等と一緒に要望でも、あるいはご提

案でも頂戴できたら、できる限り対応していきたいと考えておりますので、今後とも市政に対するご支援を心よりお願い申し上げます。本日はどうもありがとうございました。